

だ詳ならず、此後は西園寺太相國實氏の室、從一位貞子を、北山准后と申しき、此ひとは八十八代後深草、八十九代龜山院、兩代の御母、大宮の女院の御母なれば、此宣を賜はらせ玉ひしなり、何れも皆御門の御外祖母なるが故なるべし。

僧徒

〔義演准后日記〕慶長二十年元和三月四日、准親書付廣橋辨へ遣

釋門准三宮初例

法成寺攝政道長公寛仁三年三月廿一日、出家法名同五月八日、詔准三宮如元云々、又封邑二千戶

加之、凡法中准后之濫觴歟

門跡准三宮初例

御室法助光明峯寺攝政道家延慶元年七月廿七日、蒙准三宮宣給、從爾以來、諸門跡連綿令任之、

三寶院准三宮例

祖師法身院滿濟鹿苑院准后正長元年四月廿日、准三宮宣下初例、

後遍智院義賢滿濟准后資十二月廿六日同任之、

同親玉例

聖珍無品親王伏見院皇子、元東南院醍醐寺座主、三寶院兼帶、

聖雲無品親王龜山院皇子、號通智院、醍醐寺座主、

聖尊無品親王後二條院皇子、號遍智院、醍醐寺座主、賢助僧正資、

同王子例

空性二條院三宮、三寶院乘海資、

聖海法印惟明親王子、號宮法印、醍醐寺座主、三寶院成賢僧正資、

道性僧正龜山院皇子、號三寶院兼帶、醍醐寺座主、三寶院兼帶、